



Global COE “Network Medicine” 主催セミナー

薬物送達学分野主催 講演会 2012-4
第375回東北大学大学院薬学研究科セミナー



肝発生・再生における幹細胞システム

講師： 紙谷 聡英 博士

東海大学・創造科学技術研究機構・医学部門
特任准教授

日時： 2012年6月8日(金) 17:00-18:30

場所： 東北大学大学院薬学研究科 大会議室(2階)

肝臓は高い再生能力を持ち、全体の2/3を切除しても約1週間で元の機能を回復できる。しかし、ウイルス感染やアルコールの過剰摂取、メタボリックシンドロームなどによる炎症状態が続くと、慢性肝炎・肝硬変・肝癌といった重篤な症状を引き起こす。紙谷先生らはこれら重篤な肝疾患の治療法として、肝臓移植に替わる細胞移植療法を幹細胞によって実現することを目的とし研究している。肝臓では、発生期における臓器形成に関与する胎生肝幹・前駆細胞と成体肝臓での再生や機能維持に関係している成体肝幹・前駆細胞が存在する。紙谷先生らはFACSを用いた細胞分画・低密度コロニー培養系を構築し、胎生初期肝幹前駆細胞や成体肝幹・前駆細胞の純化を行っている。またマウスでの研究成果を元に、ヒト多能性幹細胞からの肝幹・前駆細胞の誘導・純化系の構築を行っている。本講演ではこれら肝幹・前駆細胞の機能・性状についてご講演いただく予定です。多数の方のご来聴を心からお待ちしております。

世話人：〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院薬学研究科薬物送達学分野 寺崎哲也
TEL: 022-795-6831 FAX: 022-795-6886 E-mail: terasaki.tetsuya@m.tohoku.ac.jp